



「となりの1メートル」

おはようございます。(おはようございます。) 6年生の合図で元気に挨拶できましたね。北風は寒いけれども青空に太陽の光のまぶしい朝です。

今日は、いよいよ2学期最後の月曜朝会、今年最後の月曜朝会です。2014年、平成26年が終わりとそろそろ新しい学年のことも考え始めなければならない時期になりました。

11月も終わりになった頃、「おかげさまとありがたい」の話をしました。いつも、「おかげ様ですようありがたいことですよう。」と言って人を大切にしているおじいさんの話。先週は、バスの停留所で、若いお兄さんにバスに乗る順番を譲られたおじいさんの「ありがとうございます。おかげ様で助かりました」と言う言葉でバスに乗った全員が笑顔になった話をしました。

1年間皆さんはいろいろなことができるようになりました。もちろん自分も努力したでしょうけれども、一人だけで何でもできたわけではないですね、たくさんの人に支えられたり、助けられたりしながら、いろいろなことができるようになり、大きくなってきた。おかげさまでできるようになった、誰かのお世話になってすごしてこられた。

だから、みんなの役に立つ、自分も人も大切に、そんな気持ちをもって新しい年を迎えたい。そんな話をしました。

ところが、「どうせ……」「でも……」「だって……」と言い訳ばかりして、今くれないのは人のせい。人は知らない間に誰かのおかげで助けられている。そのことをありがたいと思う心が大切。それが自分も人も大切に作る心なのでしたよね。

さて、12月。身の回りの整理や大掃除をして来年の準備をする時期。

そこで今日は『隣の1メートル』という話をします。

先週、教室の前を歩いていると、ロッカーの横にランドセルや手提げの荷物がいくつか落ちていました。拾おうかな、と思っていると、後ろから通りかかった女の子が落ちていた荷物をロッカーに戻したので、この子の荷物なんだな、と思っているとスーッと通り過ぎて違う学年の違う教室に入って行きました。自分の荷物を直したのではなく、通りがかりに拾ってくれたようです。それを見て、何も言えませんでした。何と素敵なお子でしょう。

ところが、校舎内のみなさんの教室の前のオープンスペースを通っているとよくこんなようすを目にします。

落ちていたゴミや荷物を拾う人、知らん顔して通り過ぎる人。

「ゴミが落ちてるよ。」という人と拾ってゴミ箱に捨ててくれる人。「ぼくが落としたんじゃないもん。」と拾ってくれない人。ぼくがおとしたんじゃないけど……。」といいながら拾って捨ててくれる人。

みなさんはどうですか。言われなくてもひろう人、ですか、言われてひろう人、ですか。それとも、言われてもひろわない、人ですか。電車のなかや街の中、教室の中でもよく見かけますよね、自分の前のゴミを足でとなりの人の方にどけてしまう人。

2学期はもうすぐ終わり。午年(うまどし)の今年ももうすぐ終わり。だから大掃除。今年出したゴミやいらぬものを整理する時期です。

「となりの1メートル。」クラスとクラスの間の1メートル。うちのクラスのゴミじゃないってとなりの1メートルにゴミをよけてしまうのか……。

うちのクラスのゴミじゃないけどきれいにしようと言ってとなりの1メートルまできれいに掃除してしまうのか……。2倍きれいになるのか、2倍ゴミがたまるのか……。

おかげさま、ありがたい、みんなが喜ぶとわたしもうれしい、と自分も人も大切に……。できるようになってきた(かな?)、桃五小のみなさん。うちの学校のとなりの1メートルは、どっちでしょうね……。2倍きれいか、2倍ゴミがあるのか……。

みんなのゴミをみんなできれいにして、来年も元気に会いたいですね。

となりの1メートルの話、終わります。